



平成26年度：学校評価

前期 児童版



「嵐山東スタンダード」
についての特集です



京都市立嵐山東小学校

本年度よりスタートした『嵐山東スタンダード』。昨年度より学校改革の大きな柱であった規範意識の育成をさらに定着させるために指導のよりどころとして示しました。

まず当面は書かれていることを学校全体で共通理解しながら守っていきたいと考えています。しかし最終的に本校がめざすところは「自立」や「自律」です。将来的には内容を精選しながらルールやマナーについて、自分で考え判断しながら行動できる子どもたちを育てていきたいと願っています。

今回は特に各項目の中から、重要度が高いと思われるものや毎月の生活目標との関連性が深いものの6項目に絞って「子どもたちの意識」を取り上げました。

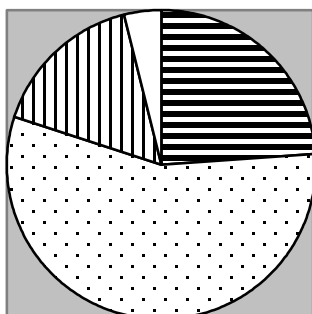
あおぞら学級は
各学年に含める

『嵐山東スタンダード』の項目	4 よく	3 だ い たい	2 あ ま り	1 ほ と んど
① 「目を見てはっきりあいさつ名人」はしっかりできていますか	24%	56%	16%	4%
② どんなことがあっても、絶対に「いじめ」をしてはいけません	66%	31%	2%	1%
③ 学校に必要な物はない物は、持って来ないようにしましょう	65%	30%	4%	1%
④ 正しい姿勢で座りましょう	15%	57%	21%	7%
⑤ そうじ中は話をせず、協力して進めましょう	25%	49%	20%	6%
⑥ 学校では、必ず名札をつけましょう	51%	36%	9%	4%

本校3年生以上の子どもたち
約230名のアンケートより



①「目を見てはっきりあいさつ名人」は、しっかりできていますか？



「4」 24%
「3」 56%
「2」 16%
「1」 4%



■「きちんとあいさつをする」「人の話をしっかり聞く」…この二つはあらゆることの基本だと考えています。いずれも他者に対する敬意なしには成立しないことです。学校教育の根幹をなすものとして今後も大切に指導していきます。

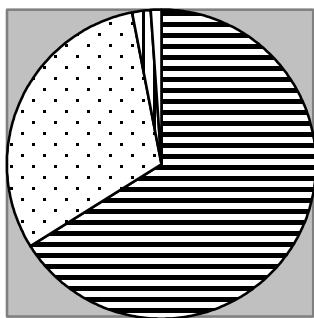
先日、ある方が「大阪の小学校に講演に行った時に、子どもたちがとっても大きな声であいさつをしてくれるので感激しました。どのように指導されているのか知りたくなりました」と話されていました。

詳しいことは分かりませんが、学校体制を挙げて取り組んで来られた経緯があるのだと思います。また、保護者や地域の方々のご協力も厚いものがあつたに違いありません。本校も必ずその域まで到達するつもりです。



この横断幕の寄贈は大変ありがたいものでした

②どんなことがあっても、
絶対に「いじめ」をしてはいけません。



「4」 66%
「3」 31%
「2」 2%
「1」 1%



■アンケートでは、97%の子どもたちが「だいたい」も含めて「守れている」と認識しており、3%は「あまり」も含めて「守れていない」という結果が出ています。

先日、天津の中学校のいじめ事件で第三者委員会の委員長を務められた大阪弁護士会の横山氏の講演を聴く機会がありました。

その中で兵庫県の子どもたちの「いじめに対する意識」を調べた無記名のアンケート結果が紹介されていました。

Q. 「いじめを受けても自分は命を絶つことは絶対にない」(小学5年生 351名)

- ・そう思う……………49.3%
- ・そう思わない……………19.1%
- ・そのときにならないと分からない…29.9%

半数の子どもたちが「自信がない」と考えている事実には驚きを感じました。

その後も事実経過や根本的な対策等について、法律家としての立場からのさまざまな感想や提言を話されていましたが、繰り返し最も強調されておられたことは以下のことです。



いじめは、いつでも、どこでも、誰にでも起こることです。

いじめが存在していることを恐れることはありません。

いじめが存在していることを否定し、その存在が隠されてしまうことこそ最も恐れるべきことです。

いじめを直視しないことで取り消しのつかない悲劇(自死)が起こるのです。

いまこそ、いじめについての意識を変えるチャンス！！

意識改革：いじめは、いつでも、どこでも、誰にでも起こる！



だから、その現状をしっかりと見つめよう！

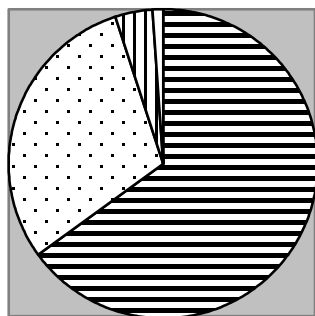
■正直なところ、どの学校にもいじめは存在すると思います。嵐山東小学校も例外ではありません。しかし、「あります」と言い切ることとはとても難しいことなのです。それはなぜでしょうか…。

横山氏は続けて述べておられます。「今の社会では、いじめはないもの、あってはならないものという考えがまず前提になってしまっている…」

さらに、「教師個人の意識としては、いじめはあってはならない、知られたくない、一人で解決しようなどと考えがちです。また、学校の意識としては、いじめはあってはならない、いじめがあると学校の評価が下がる。いじめのあるクラスの担任は能力がないと判断される…」ともおっしゃっていました。

まさに的を射た言葉です。不謹慎と思われるかもしれませんが、多くの学校関係者がそのように感じていると思います。もちろん、いじめはあってはならないことですが、「うちの学校にいじめなど絶対にない」という前提では何も生まれないということを肝に銘じて、これからもすべての教育活動を粛々と行っていきます。ご理解をお願いします。

③学校に必要な物はない物は、
持ってこないようにしましょう



「4」 65%
「3」 30%
「2」 4%
「1」 1%

これもなかなか徹底することが難しいことです。物のあふれた世の中と価値観の多様化の中で昔のように「学校に必要な物を持って来てはいけません」だけではなかなか通じ難い時代です。

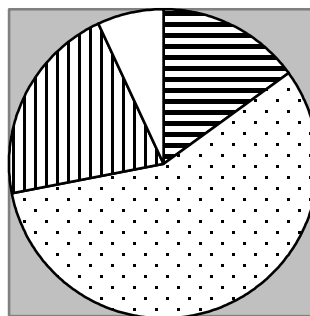
特に文房具などはおしゃれなものやセンスの良いものがどんどん流通しており、本来の使用目的がぼやけてきて、「ここまでは可」と言う線引きが困難なこともあります。

また、冬場などは携帯式カイロを持って来ている児童がいますが、尋ねると「お母さんが持って行きて言わはった」と答えたり、飴をなめている子に「どうしたの?」と聞けば「のど痛いねんやったら持って行って、先生にそう伝えなさいと言わはった…」と返事をしたりする子もいます。

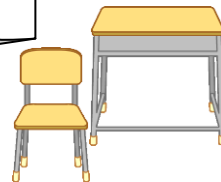
個々の事情にはもちろん応じさせていただきますが、学校は集団生活を営みながら学ぶ場所です。「学校に不必要な物は持って来させない」という基本原則を、まずご家庭から子どもたちに伝えていただきますよう改めてお願いいたします。

魔法のことは
「腰骨を立てる」 菱木秀雄
下腹に力を入れて
腰骨を シャンと立ててこら
肩や胸に力を入れないで
あごを引きましょう
すばらしい姿勢です
元気な体のもです
頭が澄んできます
あなたのわがままに勝てる姿勢です
あなた自身を見直せる姿勢です
厳しい世の中をのりきる姿勢です

④正しい姿勢で座りましょう



「4」 15%
「3」 57%
「2」 21%
「1」 7%



以前テレビを見ていましたら、予備校の先生で「今でしょ」の林修氏が「人間の成長過程で姿勢が悪いと脳の容積が大きくなり、発達が不十分になってしまうおそれがある」という話をされていました。

先日の学校保健委員会でも学校医の先生が子どもたちの姿勢の悪さや筋力のなさを話されていました。検診の際に聴診器を強めに当てるだけでふらつく子がとても多いそうです。

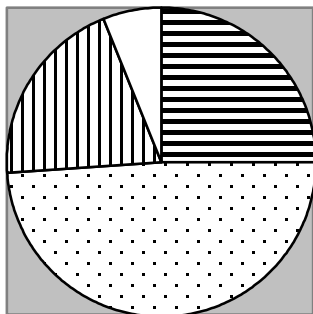
本校4月15日の学校HP「保健室から」に以下のような記事があります。

子どもたちの姿勢については、いろいろな場所や機会に気になり、本校の健康課題だとも言えます。正しい姿勢を定着させるためには、粘り強い日常的な指導の継続と、家庭とも連携をとり、よりよい生活習慣の定着を図る必要があります。今年度、毎日継続できる取組として、菱木秀雄さんの「腰骨を立てる」という詩を健康観察の前に朗読することによって、朝から「姿勢」について意識する取組を始めました。ご家庭におかれましても、「正しい姿勢」を意識し、楽な姿勢が癖にならないように、ご指導ご協力をお願いします。

この取組は本校ばかりではなく、西京東支部10校の養護教諭が中心となって各校で推進しているところです。日常的に学級や学年をはじめ全校で集まって話を聞く際に「腰骨を立てましょう」という教員が多くなりました。少しずつですが、理解しつつ行動化できる児童が増えてきているようです。



⑤そうじ中は話をせず、
協力して進めましょう



今年度に入ってから、少しずつ向上しつつあるように感じます。全体で約3/4の児童が「できている」と感じているようです。

最近では、少なくとも全く掃除をせずに、大きな声を出して走り回っているような姿をほとんど見かけなくなりました。

今後はさらに「ぴかそ」本来の目的である「清掃活動を通じて、自立や自律に向けて自分を見つめる」というところまで高めていきたいと思っています。

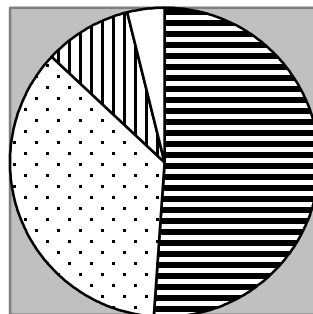
先日の5年生の道徳の校内研究では「自律」名がテーマでしたが、学習のまとめの段階では「ぴかそ」のことを振り返りながら、「おしゃべりしたい欲求」をコントロールすることについて考えました。

また、それに先立って5年生が6年生の掃除の様子をみんなで見学に行った時のエピソードを聞くことができました。「友だちの6年生のA君は自分が見に行ったらきっとしゃべりかけてくるだろう」と思っていたようですが、そのようなこともなく一生懸命に清掃活動に没頭していたそうです。

上の学年の児童のそのような姿を見ることで、下の学年の子どもたちはきっといろいろなことを考え、さらに下の子に何かを伝えてくれることでしょう。そのような「あこがれのサイクル」をこの嵐山東小学校で作り出していきたいと教職員でいつも話し合っています。



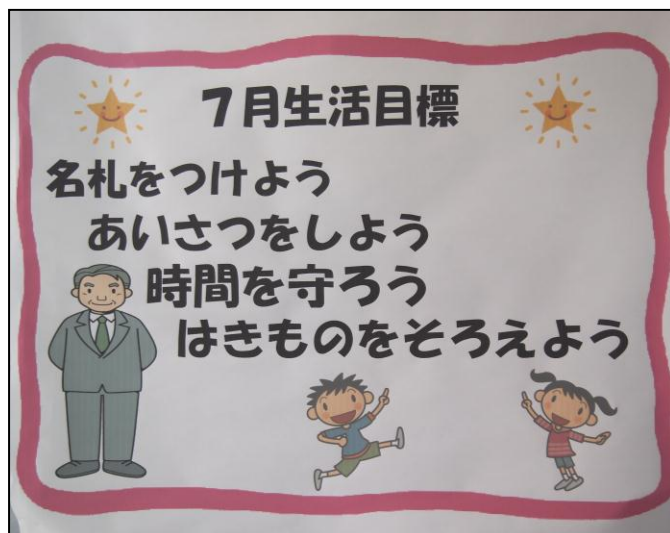
⑥学校では、必ず名札をつけましょう



「名札をつけよう」は昨年度より子どもらに訴えています、特にこの4月より積極的に伝えています。

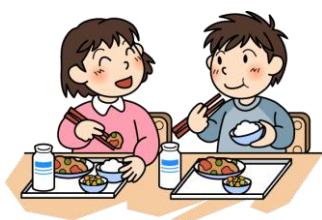
名札を付けることは少々面倒ですし、ついている状態がうっとうしいと感じる子も少なくないかもしれません。多少の我慢が必要でしょう。

しかし、互いに名前呼び合える環境を全校でつくっていくことで、子どもたちの人間関係がさらにスムーズになればよいと思います。時を経て望ましい人間関係が積み重ねられると「名前」というものを大事にする心も芽生えるでしょうし、さらには自然に相手を尊重するような校風が育ってくると思います。



子どもたちの声から

3年



1. スタンドに「帰りはできるだけ友だちと帰りましょう」というのを入れてもよいと思います。
2. 朝来たら、正門前に校長先生や他の先生がいて、「おはようございます」と言って、ぼくも「おはようございます」と言うけど、ぼくの声が小さくてとどきません。だから、これから大きい声で言いたいです。
3. できてない人がいたら、声をかけたり注意をする。
4. いつも名札をつけられずに、自分であとから気づくので朝休みに名札をつけたいです。
5. 1年生の時いじめられていたけど、2, 3年生になっていじめがなくなって、私はルールを守れていると思いました。ずっとこのままだといいです。
6. 正門前に立っている先生にだけじゃなくて、教室のみんなにももうちょっとあいさつをしてほしいです。
7. チャイムが鳴ったらすぐに遊ぶのをやめて、教室に帰って切りかえる。
8. 私は時々、ろうかを走ってしまうことがあります。なぜかと言うと、友だちが遊んでいる時、早く行きたいから走ってしまうことがあるので、走らないようにがんばります。

9. 相手のことを考えてルールやきまりを守れたら、もっといい嵐山東小学校になると思います。いろんなことも自分ができるせいっぱいの力を出せばいいと思います。

10. いすを「ぎこんぱたん」しないことを決め、よう消えるけしごむを持ってこようと思います。

11. いじめやけんかがない嵐山東小学校がいいと思います。

12. 教室やろうかやかいだんでは走るのをなくしたい。当番以外の人はずわって静かに待ちましょう。トイレはきれいに使ってスリッパをそろえる。

13. 「嵐山東スタンダード」をがんばるよ。

14. みんなが「よくできる」や「よく守れている」ように丸をつけてほしいです。よく教科書に名前を書いている人がいて、まちがいやすいので名前を書いてほしいです。

15. 聞く時は話している人の方を向いて、終わったら感想を返してあげよう。

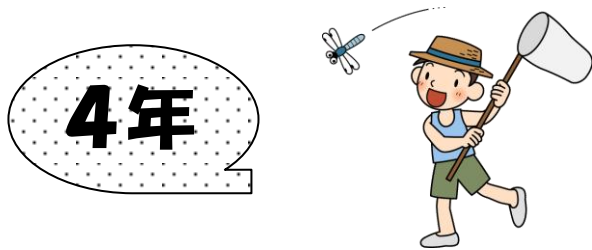
16. 最初は「えっ」と思っていました。だけど、今は「あー、そう言えばあかんなー」と思う時もあります。私は「さん」づけがまだできていないのでがんばりたいです。

17. 人をたたいたりけったりするのは、子どもが注意した方がいいと思います。なぜなら、ずっと先生たちが注意していたら子どもたちがいつまでも注意できないと思います。



18. 私は正しいしせいですわれていないから、正しいしせいですわるようにしたいです。通学路を8時5分に出発できているのかが心配です。なぜならリーダーが来るのがおそいからです。

19. 「時間を守って行動しよう」ということをアンケートに入れてほしいです。



20. 「授業で分かったことは発表するようにする」ということを入れてほしいです。

21. 「先生の指示はしっかり守る」はみんなができていると思うから、もういらないと思う。

22. みんなが楽しめる「嵐山東スタンダード」の新聞を作ったらいいと思う。

23. 学校のルールをもし全校が守れたら、すてきな学校になると思います。だから私もルールを守っていきたいです。

24. 「学年目標や学級目標をしっかりできているか」なども入れてほしいです。

25. 最近、ろうかを走っている人をよく見かけるので、なにかポスターみたいなものをろうかにはりつけてみるのはどうですか。

26. 「嵐山東スタンダード」を見て、私はこう思いました。それは、当たり前ことは書かなくてもいいと思う。

27. 「わすれものをしていませんか」のようなのを入れてみたらどうですか。

28. けいじばんに、このアンケートのことを短くまとめる。

29. 「どんなことがあっても絶対にいじめをしてはいけない」は大切だと思います。

30. もっといろいろなきまりがあるのにあまり書いていないので、もっと地域のルールも書いてほしい。

31. 「聞き方達人レベル」みたいに「聞き方姿勢レベル」も入れてもいいと思います。



32. 姿勢が悪いからよくしようと思いました。理由は姿勢がちゃんとしていたら勉強が進むからです。

33. 名札を持って帰って、いつも持ってくるのを忘れてしまうから、持って帰らないようにしたいです。

34. 私は最近、あいさつの大切さをとても知ることができました。みんなが相手の目を見てあいさつをすると、されている人も自分もうれしくなるからします。

35. 友だちの失敗を責めないのを私は守りたいと思います。なぜなら失敗を責められたら友だちが傷つくからです。

36. 「嵐山東スタンダード」の中からいくつか選んで、画用紙に書いて関係のあるところに貼ると、意識できるからいいと思います。



37.「嵐山東スタンダード」があってほとんどの人が名札を付けることができていると思います。でも、朝のあいさつで計画委員の人があいさつ運動をしているけど、あいさつを返す人が少なかったです。

38. けいじ板を作る。

39.「悪口を言わない」を入れればいいと思う。

40. 1日に一度、校門に一つ「スタンダード」の中から出して貼ったらいいと思います。

41. いらないものを持ってきている人がいるから、週に1度ふでばこ、引きだしチェックをしてみてもはどうでしょう。

42. みんなが気持ちよく過ごせるためにいじめをしない。また、みんなにいい声かけをしたい。

43. 先生の指示を一度で聞けていない時があるから、また、こういうアンケートを取る。

44.「人をたたいたり、けったりしない」は必要なのではないか。(守れているから)



45.「嵐山東スタンダード」は全部必要なことだからこのままでいいと思うけれど、少し付け加えてもいいと思う。

46.「嵐山東スタンダード」は人間として大切なことだと思う。

47.「しないといけない」と思いながらも、少しだらけてしまうことがあります。

48. 自分からあいさつをする。高学年が引っ張る。

49.「ぴかそ」は良いことだと思うけれど、そうじに関係のある「〇列目引いて」など、関係のあることだけは話してもよいの方がよくて、去年みたいにカードがいます。

50. 6年生が見本になれるように頑張ろうと思った。

51. そうじの時に「ここやってほしい」というのをありにしてほしいです。

52. 絶対に運動場で遊ぶようにして、ボールをけっていたら注意したらいいと思います。

53. 私は自問清掃の「がまん玉」がいらないと思います。なぜなら、ひと言も話をせずに協力するのは難しいからです。そうじに関係のない話をするのはだめだけど、関係のある話もしちゃいけないのは協力がちゃんとできないです。※「しんせつ玉」と「みつけ玉」は大切だと思います。

54. そうじ中、ついついしゃべってしまうので集中しようと思いました。

55. そうじ中に必要なことはいつもしゃべってしまう。

56. きまりが多すぎる。

57. ネームペン油性と水性との両方持って来てもいいと思う。

58. いろいろと基本的なものができるようになってきた。

59. これは基本だけれど、できない人が多いのでよいと思った。

60. 時々、ろうかの左がわを歩いていることがあるので、もっと気を付けたいと思いました。

61. 「スタンダード」はこの学校に必要である。

62. 「嵐山東スタンダード」が始まり、ずいぶんみんなきまりが守れていると思います。私も去年より変わりました。これが始まり「あこがれられる6年生」に一步近づけるチャンスだと思っています。なので、がんばっています。これが始まって次の6年生にたすきやバトンを渡せ、気持ちよく卒業できます。見といてください。がんばるの

■子どもたちなりによく考えて書いてくれたものがたくさんあるように思います。

理想はこの「嵐山東スタンダード」について学級会などで話し合い、出てきた意見を児童会で拾い上げて、削ったり付け足したりマイナーチェンジを加えながら、より良い真の意味で子どもたち自身のための「スタンダード」にしていければと思っています。

「ぴかそ」に関する「49」や「51」「53」の意見はもっともだと思えます。清掃活動のことだけを考えれば、楽しくできることや協力するためにコミュニケーションをとることはむしろ大切なことでしょう。

ただ、「ぴかそ」の本来の目的は清掃活動を充実させることではありません。本校では「清掃活動は自立や自律のための手段」と位置付けています。昨年10月に「ぴかそ」を取り組み始める前に保護者の方へお出ししたご案内が次頁にありますので再度ご覧ください。子どもたちにも根気よく話していきながら理解を求めたいと考えています。

